

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-1(No.6 L-18.5)		調査位置			北緯	36° 58' 52.0000"									
発注機関	栃木県大田原土木事務所				調査期間	2008-02-12 ~ 2008-02-18		東経	140° 08' 41.0000"							
調査業者名			主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者							
孔口標高	279.74 m	角度			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー	落下用具	
総掘進長	10.45 m										エンジン			ポンプ		

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日		
												深度	10cmごとの打撃回数			貫入量	N値	深度	試験名および結果	深度			試料番号	採取方法
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)						事			(m)												
1	279.54	0.20	0.20		表土(SF) 粘性土(C)	暗褐			シルト、木根含む。 粘土化した火山灰質粘性土。 安山岩礫を少量含む。			1.15				4								
	278.54	1.00	1.20		粘性土(C)	淡褐～黄褐		軟らかい	完全に風化した安山岩礫を多く含む部分と火山灰質粘性土との互層状。 2.40～3.00mは雲母片を含む。			1.45	1	2	1	30								
2												2.15	1	20	1	2	30							
												2.45												
3												3.15	1	20	1	2	34							
	276.04	2.50	3.70		玉石混じり粘性土(C-B)	褐褐～暗灰		中ぐらい	3.70～4.00m安山岩玉石。 4.60～4.70m安山岩玉石。 他に風化安山岩礫を含む。			3.49												
4												4.15				27							02/14	
	275.04	1.00	4.70		礫混じり粘性土(C-G)			軟らかい	風化した安山岩礫を含む。 礫は砕け易く固結～半固結状。 マトリックスは粘土化した火山灰。 4.90～5.40mは紫灰色の風化安山岩礫。			4.45	2	5	20	30								
5												5.15				35	50							
												5.34	15		9	19	>50							
6												6.15				21								
												6.45	9	7	5	30								
7												7.15				33								
												7.45	13	8	12	30								
8												8.15				26								
	271.34	3.70	8.40		軽石(Pm)	赤褐			粘土化した軽石。			8.45	12	7	7	30								
9												9.15				16								
	270.64	0.70	9.10		火山灰質粘性土(V)	暗褐灰		硬い	風化軽石と砂混じり火山灰。			9.45	4	6	6	30								
10												10.15				3								
	270.14	0.50	9.60		軽石質粘性土(C)	黄褐		軟らかい	風化礫少量含む。 粘土化した火山灰～軽石。 含水多い。			10.45	1	1	1	30							02/15	
	269.29	0.85	10.45																					